



ISC オンラインガイドの整備について

甲斐 郷子¹
井上 純一²
林 豊洋³

1 はじめに

情報科学センター（ISC）では、新入生への情報提供の一環として情報科学センター利用の手引きおよびISCローカルガイドの冊子（100ページ程度）を作成し、新入生配布資料として入学時に配布していました。これらの冊子には、一般的な教科書には載っていない本学独自の設定情報や利用情報が記載されているため、情報科学センターの計算機システムだけでなく学内ネットワークや学内情報サービスを利用する上でも有用な存在となっていました。しかし、急激な技術の進歩に伴いサービス更新の頻度が上がり、冊子媒体での情報公開では情報の陳腐化が起りやすくなっていました。そのため、情報伝達の容易さやユーザの利便性等を考慮し、2000年度よりWebによるISCオンラインガイドの運用を開始、即座に適切な情報公開ができるようにしました。本稿ではISCオンラインガイド整備の経緯と利用状況等について簡単に報告します。

2 WebによるISCオンラインガイドの整備（2000～2011年度）

情報科学センターでは1994年6月からWebを用いた情報公開を行っておりましたが[1, 2]、当初はWeb技術の利用促進が主眼であったため、情報科学センターとしての情報公開の手段は依然として紙媒体が主となっていました。しかし、学内でのWeb利用が浸透するにつれ、公開情報のWeb化を要望する情報が多くなってきたため、冊子版の情報科学センター利用の手引き及びISCローカルガイドに掲載されている情報をWeb化することにしました。2000年から試験運用の形でISCオンラインガイドの運用を開始、2002年には正式に運用をアナウンスしました。

ISCオンラインガイドのコンテンツは、まず情報科学センターの夜間技術補佐員（学生アルバイト）が分担して作成し、教職員がそれをチェック及び修正する形で作成しました。また、コンテンツは毎年新たな版を作成するようにしています。学生のhtmlタグの学習が目的でもあったため、すべてのファイルはemacs等のテキストエディタでタグまじりのファイルを直接作成していましたが、htmlタグだけでなくWebデザイン、表現技術、ガイドの内容である情報技術そのものについての実践教育となっていたように思います。

また、オンラインガイドは主に授業中に特定のページへのアクセスが集中する形での利用が想定されるため、その対策として当初は情報科学センター講義室端末からのアクセスをWebサーバ経由（http://）ではなく、htmlファイルを直接ブラウザに読み込むという形（file://）で提供しました。Webサーバ経由で提供できたのは、高性能サーバやロードバランサーが導入できた2005年度以降になります。

¹情報科学センター 准教授 kay@isc.kyutech.ac.jp

²情報科学センター 技術専門職員 inoue@isc.kyutech.ac.jp

³情報科学センター 助教 toyohiro@isc.kyutech.ac.jp

表 1: 2011 年度版～2015 年度版の総ページ数の推移

版	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
総ページ数	438	410	427	298	313
総画像数	不明	2423	997	992	1675
方式	HTML	CMS			

冊子版の ISC ローカルガイドは 2006 年度まで新入生に配布していましたが、冊子版と Web 版の両方を作成するコスト負担を軽減するため、2007 年度から紙媒体として「情報科学センターをはじめて使う人へ」(A4 で 5～6 ページ程度に縮小)、電子媒体として ISC オンラインガイド、施設パンフレット及び最新のセンター広報を含む CDROM を配布することにしました。

図 1 と図 2 に、2000 年度版と 2007 年度版の ISC オンラインガイドのトップページを示します。2000 年度版は冊子版を意識してトップページが小項目別の目次となっていますが、2007 年度版は説明文付きの大項目別に分類され、Q&A や検索機能等が追加されるなどの違いが出ています。

3 CMS を利用した ISC オンラインガイドの整備 (2012 年度～)

テキストエディタを用いての html タグ混じりのページ作成では、1 つのページやリンク変更の影響を追って関連するページ群全部を修正したり、デザインの一貫性を保持したりするのが困難でした。このような欠点を克服するため Contents Management System(CMS) の導入を検討、いくつかの CMS から、オンラインガイドとの親和性、カスタマイズの容易さ、ユーザ・コミュニティが国内に存在したこと等から、Joomla! を選択、2012 年度から運用を開始しました。これにより、ページやリンクの修正が随時可能、デザインの一貫性の保持、ユーザの検索性が向上する等の利点が得られました。

CMS 導入により、コンテンツ作成の手順も変更することになりました。夜間技術補佐員はコンテンツそのものではなく、そのパーツとなる画像の作成を行い、ページ作成そのものは 2～3 ヶ月間かけて職員が行います。作成されたコンテンツに対して、夜間技術補佐員や教職員等複数名で、情報が正しいか、誤解なく読めるか等の視点でチェックを行い、修正した後に公開します。

図 3 に 2015 年度版オンラインガイドのトップページを示します。

4 ISC オンラインガイドの利用状況

表 1 に版ごとの総ページ数の推移を示します。2013 年度までに比べて 2014 年度は 100 ページ近くページ数が減少していますが、これは man コマンドで代用可能な Linux コマンドの説明を省いたためです。

表 2 に版ごとのアクセス数 (左側がページタイトル、右側がアクセス数) の推移を示します。全体を通して、ネットワーク利用に関するページへのアクセスが多いことが分かります。また、2014 年度は情報科学センターの計算機システムが更新、生涯メールが導入された年度になるため、全体的にアクセスが急激に増加しています。

5 おわりに

本稿では、情報科学センター・オンラインガイドの整備について簡単な報告を行いました。今後の課題としては、ユーザの理解を促進するようなページタイトルやページ構成をどう作っていくか、誤操作

の復帰手順等ユーザが失敗した場合のフォローをどこまで盛り込むか、最近学内利用が急増しているスマートフォンへの対応をどのような形で行うか等が考えられます。

参考文献

- [1] 古野 潔美, 大西 淑雅「教育システムにおける WWW の活用」情報科学センター広報 第 9 号, 1997 年 2 月.
- [2] 大西淑雅, 下橋由美「教育用 WWW サービスについて」情報科学センター広報 第 14 号, 2002 年 3 月.

● ISCオンラインガイド2000 [Linux PC端末編]

情報科学センター(Information Science Center/ISC)を利用する方を対象としたオンラインガイドです。

はじめに読んで下さい。

[オンラインガイドに関する注意](#) [ISCの利用マナー](#) [利用上の注意](#)

- | | |
|--|---|
| 1 はじめて使う人へ | 11 GNU C プログラミングの流れ |
| 2 オンラインガイドの使い方 | 12 Java プログラミングの流れ(作成中) |
| 3 パスワードの変更 | 13 グラフィックス・ライブラリの使い方(作成中) |
| 4 Linux コマンドの使い方 | 14 pTeXの使い方 |
| 5 エディタ(Mule)の使い方 | 15 tgifの使い方 |
| 6 かな(Canna)の使い方 | 16 gnuplotの使い方 |
| 7 netscapeの使い方 | 17 gimpの使い方 |
| 8 電子メール(Mew)の使い方 | 18 基本的な用語の説明 |
| 9 プリンターの使い方 | 19 Linux PC端末上で動くツール |
| 10 GNU Pascal プログラミングの流れ | |

● オンラインガイド項目

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1 ISCの窓口 | 4 前システムとの違いについて |
| 2 パソコン(端末演習室1)の使い方[飯塚] | 5 Q&A(作成中) |
| 3 電話回線からの使い方 | |



ISC教育システムホームページへ戻る [\[飯塚\]](#) [\[戸畑\]](#)

お問合せ : tebiki@isc.kyutech.ac.jp

図 1: 2000 年度版 ISC オンラインガイドのトップページ

最終更新: 2007年06月08日



このページは、情報科学センターのスタッフによって作成されたオンラインガイドです。情報科学センターの機器に関する基本的な使用方法をはじめ、アプリケーション類の設定方法やトラブルへの対策方法など、様々な情報を記載しています。このオンラインガイドを活用して、情報科学センターの使い方を学習してください。

[利用方法]

以下の[項目一覧]から自分の知りたい項目を選択する(マウスカーソル[☞]を 知りたい項目の上へ動かし、マウスカーソルが矢印の形から手の形[☞]に変わったところで左クリックする)ことで、情報が記載されているページを閲覧することができます。

[項目一覧]

はじめて使う人へ 利用上の注意や教育用端末の基本的な使い方などについて説明しています。	
Linuxの基本的な使い方 パスワードの変更方法、日常的に利用するLinuxコマンドやWebブラウザ、エディタなどについて説明しています。	
アプリケーションについて 教育用端末で利用できる主なアプリケーションの使い方について説明しています。	
プログラミングについて C,Pascal,FORTRAN,Java言語によるプログラミングについて説明しています。	
その他の利用方法について Linux/Windows端末やUSBメモリ、学外からの利用方法などについて説明しています。	
よくある質問(FAQ) よくある質問とその回答を掲載しています。	
オンラインガイド内検索 オンラインガイド内の検索ができます。 <small>*現在は2006年度版オンラインガイドの検索になります</small>	お問い合わせについて オンラインガイドに関する問い合わせ方法について説明しています。

[利用上の注意]

- オンラインガイドを初めて利用される方は「[情報科学センター利用上の注意](#)」と「[オンラインガイドに関する注意](#)」を**必ずお読みください**。
- オンラインガイドを閲覧するためには、最低限マウスの操作方法を習得しておく必要があります。マウスの操作に慣れていない方は、「[マウスの使い方](#)」を参照してください。

[情報科学センター利用上の注意](#)

[オンラインガイドに関する注意](#)

[マウスの使い方](#)

情報科学センター
[\[飯塚キャンパス\]](#) [\[公式ページ\]](#) [\[戸畑キャンパス\]](#)

図 2: 2007 年度版 ISC オンラインガイドのトップページ

ISC ONLINEGUIDE 2015

📍 TOP

情報科学センターは、情報科学に関して九州工業大学における教職員、学生、その他が共同して教育研究を行う施設です。なかでも、数百台の端末と各種機器を揃えた教育用システムは、講義や自習に利用され、ユーザに情報を学ぶ場を提供しています。

オンラインガイドには、初めて端末を利用する人向けの基礎的な情報を中心に、知っているとちょっと便利な設定方法、困った時の対処方法などが掲載されています。このガイドを使って情報科学センターの機器を有効活用してください。

項目一覧

TOP

[初めて利用される方へ](#)

[基本編](#)

[応用編](#)

[困った時のQ&A](#)

初めて利用される方へ

初めて情報科学センターを利用する方を対象としたページです。情報科学センターを利用する上で守らなければならない規則やマナーをはじめ、端末が設置されている教室の利用時間、オンラインガイドの表記方法などを掲載しています。

基本編

情報科学センター教育用システムで利用することができるLinuxとWindowsの基本的な操作方法を掲載しています。パスワードの変更手順や生涯メールの使い方については[こちら](#)をご覧ください。

応用編

情報コンセントサービスやVPN接続サービス、Exceed onDemandなど情報科学センター外から情報科学センターを利用する方法や、知っているとちょっと便利な環境設定方法などについて掲載しています。

困った時のQ&A

よくある質問とその回答や、情報科学センターが提供している各種サービスについてわからなくなった場合の連絡先などを掲載しています。教職員向けの生涯メールシステム利用の手引きは[こちら](#)をご覧ください。

図 3: 2015 年度版 ISC オンラインガイドのトップページ

表 2: 2012 年度版～2015 年度版のアクセス数の推移 (上位 20)

	2012 年度		2013 年度		2014 年度		2015 年度 (～2/25)	
1	HOME	77608	HOME	17918	HOME	104084	HOME	34407
2	基本編	25688	基本編	7375	Webmail を 利用する方 法	36826	基本編	14616
3	応用編	19382	注 意 事 項 (情報コンセ ント)	6639	VPN 接 続 サービスの 利用方法	32313	応用編	13636
4	センター外か らの利用方法	12570	応用編	6510	基本編	12939	情報コンセン トサービスの 利用方法	8553
5	情報コンセン トサービスの 利用方法	12401	情報コンセン トサービスの 利用方法	5303	応用編	11387	Exceed on- Demand の利 用方法	6636
6	始めて利用さ れる方へ	10154	初めて利用さ れる方へ	3970	情報コンセン トサービスの 利用方法	10645	基本的な使い 方 (新) 生涯 メール編	5850
7	VPN 接 続 サービスの 利用方法	8926	VPN 接 続 サービスの 利用方法	3166	生涯メールシ ステムの利用 方法	8931	VPN 接 続 サービスの 利用方法	5084
8	Exceed on- Demand の利 用方法	8617	困ったときの Q&A	2363	Yahoo!メー ル (Yahoo! JAPAN) へ の利用登録	6261	ク ラ イ ア ントのダウ ンロードと インストール (Exceed onDemand)	4529
9	困ったときの Q&A	8122	サービス一覧	2233	2014 年度版 新システムに ついて	5588	初めて利用さ れる方へ	4447
10	メールリー ダ (icedove) の使い方	7017	Linux コマン ドの使い方	2045	メールアドレス と初期パス ワードの取得	5127	Yahoo!メー ルへの利用 登録	4065

	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度(～2/25)	
11	Linux コマンドの使い方	6285	電子メールの利用方法	1968	初めて利用される方へ	5004	生涯メールを利用するための手続き(簡易版)	3964
12	エディタの使い方(emacs)	5833	ユーザ登録と発行・移行(2013/10～)	1926	ユーザ登録と発行・移行	4804	生涯メールシステムの利用方法	3777
13	よくある質問とその回答	5666	ユーザ登録と発行(～2013/9)	1917	生涯メールを利用するための手続き(簡易版)	4738	ユーザ登録と発行・移行	3654
14	ユーザ登録	5633	無線LANの設定について	1908	電子メール(thunderbird)の利用方法	4237	困った時のQ&A	3297
15	無線LANの設定について	5307	よくある質問とその回答	1861	Exceed onDemandの利用方法	3754	起動と終了(Exceed onDemand)	3010
16	基本的な使い方(Linux-icedove)	5294	電子メールリーダ(thunderbird)の使い方	1847	利用方法(生涯メール)	3344	Office365 システム(Microsoft)への利用登録	2366
17	コマンド一覧表	5126	Exceed onDemandの利用方法	1624	困った時のQ&A	3320	新生涯メールを利用するための手続き(簡易版)	2253
18	クライアントのダウンロード(EoD6J)	4686	利用上の注意点(初めて利用される方へ)	1553	生涯メールシステムの利用方法	3216	メールアドレスを取得,または確認する(生涯メールシステム)	1976
19	基本的な使い方(情報コンセント)	4450	端末について	1467	利用上の注意点(生涯メール)	2664	利用方法(生涯メールシステム)	1974
20	アカウントの設定(Linux-icedove)	4374	パスワードの変更手順	1310	クライアントのダウンロードとインストール(Exceed onDemand)	2437	パスワードの変更手順	1964